低圧遮断器における最近の規格動向と新形ノーヒューズ遮断器・漏電遮断器

細貝節夫*
上元利和*

Standard Trend in Low-Voltage Switchgear and New MCCBs and ELCBs

Setsuo Hosogai, Toshikazu Uemoto

要　旨

低圧遮断器を取り巻く規制・規格の環境が，安全指向や規制緩和のために，グローバルな標準化に向かって大きく変わりつつある。2004年12月に我が国の低圧遮断器(配線用遮断器・漏電遮断器)のJIS(Japanese Industrial Standards)規格が大幅に改正された。それは，国際規格であるIEC(International Electrotechnical Commission)規格の体系を取り込み，従来からのJIS規格と統合を図った規格である。規格の国際整合化が進み，世界的な貿易の自由化の拡大が一層進むものと考えられる。

こうした環境変化の中，三菱電機の低圧遮断器は，国際化するグローバル市場の要求にこたえるために，2006年１月(250Aフレーム以下)と４月(400Aフレーム～1,600Aフレーム)に新製品を市場に投入した。

新製品の特長は，国内・海外の形名を統一して新JIS規格への適合と海外規格に同時適合し，世界に通用する白カバーデザインを採用し，また，環境負荷の軽減を目指したRoHS(Restriction of the use of certain Hazardous Substance in electrical and electronic equipment)指令に適合したことである。機種の標準化と仕様統一を図り世界市場に対応できる製品を目指したもので，グローバル化する国内市場の要求に対応した。

NF125-SW
ノーヒューズ遮断器

NV125-SW
漏電遮断器

NV125-SW
漏電遮断器
CEマーキング品

NF630-SW
ノーヒューズ遮断器

NV630-SW
漏電遮断器

新形三菱ノーヒューズ遮断器・漏電遮断器

グローバルな市場への対応を目指し，新JIS規格と海外規格に同時対応し，国内仕様と海外仕様の統一化のため形名の統一と白カバー化を採用し，また，環境に配慮し欧州RoHS指令に適合した製品である。

*福山製作所